

今月の管内農業情報（田原農業改良普及課）

[2020年12月15日]

11月の農業情報

タイトル オオバ年1.5作栽培体系に向けてコンサルティングを開催

とき 令和2年11月6日(金)

ところ 田原市内現地

主体・対象 田原市オオバ活性化協議会(3名)

内容

田原市オオバ活性化協議会では、オオバの年1.5作栽培（栽培期間8か月）をめざし、事業を活用して実証に取り組んでいる。

11月6日、現地ほ場において栽培改善を目的にコンサルタントによる指導を受けた。この中で、茎伸長に影響を及ぼすかん水量、温度管理（D I F）、栽植密度などの重要性が話し合われ、有意義な会議となった。

オオバの栽培は通常年2作で行われており、草丈が1.5m以上になって収穫が難しくなる作を終了している。田原市オオバ活性化協議会では「次世代につなぐ営農体系確立支援事業」を活用し、環境制御技術等により草丈伸長を調整して、年1.5作栽培体系を可能とするための実証に取り組んでいる。

6月上旬に定植した実証ほ場において、株式会社Delphy Japanの斉藤氏をコンサルタントとして招き、生育状況を確認しながら意見交換と改善方策の検討をおこなった。第1回は9月4日、夏季の高温対策及びかん水管理について、第2回目となる今回は、温度管理（D I F）、栽植密度の改善点について話し合われた。

当普及課は農協と連携して生育調査を実施しており、2月までに成果をまとめる予定である。



オオバ生産ほ場でのコンサルティング風景